

第 71 回 千葉支部評議会の概要報告

開 催 日 時	平成 27 年 5 月 21 日 木曜日 PM2 : 30～PM3 : 25
開 催 場 所	全国健康保険協会千葉支部 4 階会議室
出 席 者	小賀野評議員、黒田評議員、高原評議員、中嶋評議員、錦織評議員、松澤評議員、松本評議員、山口評議員、（五十音順）
議 題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 議長の選任について 2. 地域医療構想について 3. その他
議 事 概 要 (主な意見等)	<p><u>1. 議長の選任について</u></p> <p>★鎌野前議長の退任に伴い新議長の選任を行った。全国健康保険協会評議会規程第 5 条に基づき、評議員の互選により小賀野評議員が議長に選任された。また、同条第 2 項に基づき、議長より議長代理に山口評議員が指名された。</p> <p>事務局より議題 2, 3 について説明。主な意見等は下記のとおり。</p> <p><u>2. 地域医療構想について</u></p> <p>◆千葉支部の医療費の状況について詳しく知りたいと思うのですが、今後の評議会で取り上げる予定はあるのでしょうか。《事業主代表》</p> <p>⇒医療費分析につきましては、10 月に開催される評議会で取り上げる予定であります。現状千葉県には 9 つの二次医療圏があり、その地域における流入患者や流出患者の状況等を受療動向と呼んでおりますが、今後、千葉支部の加入者に関する医療圏ごとの受療動向について、分析を進めていく予定であります。この件につきましても、10 月の評議会で報告させていただければと考えております。</p> <p>◆医療圏ごとの受療動向について分析を行うことは、とても興味深いと思います。分析結果については、ぜひ評議会でお示ししていただきたいと思います。《事業主代表》</p> <p>⇒千葉県の場合は、県内の医療圏を飛び越えて受診するケースに加え、県を飛び越えて東京都の医療圏で受診するケースも多いようです。また、千葉県の医療機能別の病床数をみると、高度急性期については多いものの、急性期を脱した患者を受け入れる病床が不足しているようです。こういった事情を踏まえながら千葉支部加入者の受療動向を分析し、有用な資料を作ってまいりたいと考えております。</p>

◆県内の9つの二次医療圏のうち、「山武長生夷隅」については、広大な面積であるにもかかわらず医療機関が少ないということで、他の医療圏に行かざるをえないという話を聞きます。

《事業主代表》

◆県の医療審議会においては、他の医療圏から多くの患者を受け入れている関係者から医療圏の見直しを要望する声は出ているようです。「山武長生夷隅」の患者を多く受け入れている「安房」の医療圏は、大島など東京都の島嶼群の患者も受け入れていると聞きます。「東葛北部」の医療圏も、東京都から多くの患者を受け入れているようですが、その逆で東京に流れる患者さんも相当数いるでしょう。今後、県内の医療圏ごとの受療動向の分析を進めていくということですが、そこから千葉県医療に関する課題などが見えてくるのではないのでしょうか。以前は、千葉県内において、出産するための医療機関が不足している地域もあったようですが、様々な施策により現在は改善されています。今回の分析で明らかになった課題を、将来の千葉県の医療の在り方に生かしてほしいと思います。《学識経験者》

3. その他

特にご意見等なし

特記事項

- | | |
|------------------|-----------------------|
| ・第71回千葉支部評議会傍聴者 | なし |
| ・第72回千葉支部評議会開催予定 | 平成27年6月18日(木) PM2:30～ |